

令和4年度 印西市家庭教育学級だより

かてきょう通信 11月号

「子育ては、自分育て」 ～家庭と地域の絆のために～

芸術の秋、スポーツの秋…… どんな秋をおすごしですか？

11月（霜月・しもつき）に入り、秋も深まってきました。コロナウィルスやインフルエンザへの対応をしながら、少しずつでも、生活が元に戻るよう期待しているところです。



園や学校では、2学期の半ばとなり、また、活動しやすい気候にもなり、様々な活動に力を入れている頃でしょう。芸術や運動関係の行事や発表会、校外学習や授業参観など、忙しくも、活気のある日々だと思います。子どもたちは、そうしたいろいろな経験を積み重ねながら、一日一日成長しています。あたたかく声をかけ、子どもたちの生活を応援してあげてください。

さて、秋もたけなわ。『読書の秋』とよく言われます。本を読むことは、知識を得たり、心情を豊かにしたりして、人間性を磨く素晴らしい活動だと思います。特に成長著しい子どもたちにとって、読書は、**脳の活性化**に大きな役割があるそうです。

さらに「**読み聞かせ**」は、親子で一緒に過ごす時間。脳科学の見地から、『**大脳辺縁系**』という部分に大変良い効果をもたらすということです。この『**大脳辺縁系**』には、感情・意欲・本能をつかさどる部分や、心を落ち着かせ、言語能力を高める部分があり、人間の発達に欠かせないものなのだそうです。



なかなか読書をしないお子さんもいるかもしれませんが、しかし、何かのきっかけで読書好きになるお子さんもたくさんいます。親が読書する姿を示したり、読み聞かせをしてあげたり、また、身近に本のある環境を作ったりして、無理強いしないよう、本に触れさせるよう工夫してみましょう。親と子どもの信頼関係も深まるでしょう。

◇お問い合わせ◇

印西市教育委員会 教育部生涯学習課 推進係(担当 鳩・海老原)

【電話】0476-33-4713 【FAX】0476-42-0033



子育ては自分育て

★「かてきょう通信」は、印西市ホームページでもご覧いただけます。
印西市ホームページにて「かてきょう通信」と検索してください。